

No.184

公民館だより

令和7年7月

宮津市字由良
由良の里センター内
由良地区公民館鶴岡市立由良小学校と
宮津市立由良小学校との交流

由良地区公民館長 千坂 幸雄

令和7年度庄内由良親善交流訪問は11月6日・7日の1泊2日、伊丹空港から山形空港へ旅客機で行く予定です。

この交流訪問を前にして、小学校がどのような交流をしていたのかを記してみます。
丹後の由良小との交流の経過
(庄内由良小学校作成)

平成元年

庄内由良小学校独立40周年記念学校祭へ丹後由良小学校児童の作品の展示を校長より依頼、庄内由良小からも作品を送る。

平成2年3年

児童作品の交換などの間接交流を続ける。

平成4年

11月5・7日、庄内由良開村1400年を次年に控え、庄内由良小児童4名、校長、児童会担当教諭、自治会副会長、PTA会長、祖先の地丹後由良を訪問し、丹後由良小児童と交流会を持ち、地区の歓迎会に出席

平成5年

8月26日・28日、開村1400年を記念し、由良自治会が丹後由良を招待、丹後由良小児童代表4名、校長、教諭、自治会役員、由良の歴史をさぐる会会員ら19名が庄内由良を訪問
・由良小にて児童の交流

・地区の歓迎式典、及び歓迎会を盛大に開催

・両小学校の今後の交流について両校長で話し合い、次のように行うことで合意する。

① 毎年、作品交換などの間接交流を中心に継続する

② 直接交流(訪問)は、概ね、3年毎に交互に訪問し合うことを目指す

③ 姉妹校などの盟約は結ばず、「友好の浜」の盟約に基づき交流とする

平成4年11月7日京都新聞丹後版より

児童らが初めて交流

庄内・由良小と宮津・由良小山形から訪問団

地域や学校紹介し合う

ようこそ庄内・由良から丹後の由良へ。宮津市の由良小(飯田和子校長、76人)に6日、山形県庄内地方の鶴岡市立由良小(渋谷正校長、120人)児童らの交流訪問団が訪れた。地名が取り持つ縁で、丹後と庄内の自治会同士が交流を重ねており、今回初めて児童らの直接交流が実現した。庄内の由良地域には、約1400年前に聖徳太子のいとこ蜂子皇子

が丹後の由良から船に乗って庄内の浜に着き、その地を由良と名付けたという言い伝えがある。7年前に自治会同士が「友好の宣言」を結び、3年前から両校の児童画交換を続けている。

この日正午過ぎ、庄内由良小の佐藤真奈美さん(6年生)ら児童4人と渋谷校長、鶴岡市由良自治会の佐藤峯男副会長ら8人が丹後由良駅に到着。1時半からの由良小での交流会では、庄内・由良小児童が「私たちの学校は海の近くにあり、漁業が盛んで、夏には海水浴でにぎわいます」と地域や学校のことを紹介、貝の飾りや文集などをプレゼント。丹後・由良小も児童会長の瀬田考司君(6年生)らが自校を紹介。メッセージを付けたミカンのワッペンを贈り、丹後の由良小唄を披露し、一緒に踊った。今回の訪問団長の佐藤さんは「丹後由良は私たちの先祖ゆかりの地で、故郷に帰った思いがした。」21世紀を目指して子供たちの交流を深めたい」と話しており、来年は丹後・由良小の児童を庄内に招く計画という。

行事報告

由良地区公民館主事

千坂 昌子

駅前通り除草作業と 芝桜の苗増殖

実施日 4月20日(日)

参加者 24名

(内子ども2名)

オリーブを育てる会

浜野路夕月サロン

公民館活動員、有志一同

芝桜除草作業は今年で5年目を迎えます。

由良地区民の皆さまにご協力をいただきまして、芝桜周辺の雑草を取り除きました。

除草作業のおかげで芝桜がはつきり目立つようになりました。

また、由良観光組合から苗を20株いただいで空いたところに増殖出来ました。

桜の花が散った足元に美しいピンクの絨毯が広がります。4月29日の由良ヶ嶽登山に



参加いただいた方々にも美しい芝桜を見ていただくことが出来ました。

年々由良がきれいになっていきます。ご協力をいただきました皆様ありがとうございました。

由良ヶ嶽登山道整備

実施日 4月22日(火)

8時30分～11時50分

参加者 9名

由良地区公民館が主催して由良地区自治連合会、由良地区観光組合と共催による由良ヶ嶽登山道整備を行いました。

車に乗り合わせて舞鶴市漆原から9合目までむかいます。

今年は5合目あたりで土砂崩れがあり、そこからは歩いて頂上に登ることになりました。

頂上での作業は倒木の除去や木の伐採、草刈りです。草はあまり伸びていなかったもので作業は1時間以内で終了し、下山しました。但し、2人の方には頂上から由良側の登山口まで作業しながらの下山をお願いしました。

この事業は中丹東土木事務所の委託事業になっています。観光組合では高齢化で参加

者が減り、自治連合会では働いていらっしゃる方がほとんどになり作業参加者が減っています。

一般の方々の参加募集を考えています(時給賃金あります)よろしくお願いいたします。



由良ヶ嶽登山

実施日 4月29日(火)

参加者 131名

天候は曇りのち晴れ、気温



12度～16度の涼しい登山日和でした。
午前8時から受け付けを開始、3歳～88歳の方々総勢131名の登山となりました。昨年 비해60名の増員となりましたのは、宮津天橋高校フイールド探求部の生徒さんと引率の先生2名の計34名が参加されたこと、また宮津市ホームページに由良ヶ嶽登山の案内を掲載いただいたことが大きく響いたと思います。
由良地区からは38名の参加でした。

公民館からは館長と若手の公民館活動員が登りました。山頂では皆さん、素晴らしい眺めを堪能されたようです。



公民館から参加者の方々に

- ① 登山証明書
- ② 記念ボールペン
- ③ お菓子（子ども達に）を差し上げました。

出来る範囲（頂上までではなくて、2合目、3合目等もオーケーなのです）で運動不足を解消してゆきたいものです。



いけばな体験教室

実施日 5月17日（土）

13時30分～15時30分

参加者 7名

地域の中で講師を見つけ、地域の方々に学習をしていただく試みの第2弾としまして活花体験をさせていただきました。

華道は2024年12月に登録無形文化財に認定された日本の伝統文化です。今回はオ



アシスを使った親しみやすい内容で、日常と少し違う集中される時間を楽しんでいただけたのではないかと思います。
今後も地域の中で講師を見つける講習会を企画しますので公民館までお問い合わせください。

写真で振り返る令和6年度由良地区公民館の活動



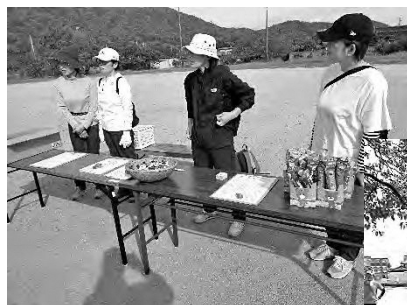
森林組合由良ヶ嶽山頂大木伐採



登山道整備



駅前通り芝桜除草作業



由良ヶ嶽登山受付



由良歴史ウォーキング



ふるさと祭り盆踊り



モルック



グラウンド除草作業



ソーデーウォーク



由良地区文化祭



浴衣の着付け教室

令和6年度由良地区公民館 決算報告書

一般会計(自治会協力金)

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日

収入の部

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	増 減 額	摘 要
繰越金	287,124	287,124	0	前年度より
公民館費	472,320	457,380	－14,940	120 円×12 月×318 戸－振込手数料 440 円
各種補助金	0	0	0	
雑収入	5	86	81	預金利息 86 円
合 計	759,449	744,590	－14,859	

支出の部

項 目	予算額	決算額	増 減 額	摘 要
会議費	35,000	9,261	－25,739	お茶 (例年のボールペンは次年度支払い)
事務費	10,000	130	－9,870	スティックのり
旅費	50,000	31,302	－18,698	館長、主事旅費
通信費	3,000	1,910	－1,090	公民館だより郵送
事業費	140,000	104,451	－35,549	由良ヶ嶽登山、文化祭
助成費	90,000	71,400	－18,600	ふるさと祭り協賛金、10団体活動助成費等
渉外費	30,000	24,000	－6,000	保護観察協会会費 公民館掃除謝礼等
慶弔費	15,000	0	－15,000	
備品費	250,000	189,360	－60,640	展示パネル2枚、体育館扇風機等
消耗品費	20,000	7,366	－12,634	乾電池 虫よけジェル等
施設管理費	40,000	31,980	－8,020	公民館管理費 草刈りチップ
予備費	76,449	35,229	－41,220	公民館役員慰労
合 計	759,449	506,389	－253,060	

差引残高 238,201円 は次年度に繰越します。

令和7年度の役員

由良地区公民館運営審議会委員（順不同・敬称略）

団 体 名	氏 名	団 体 名	氏 名
自治連合会 会長	濱本 喜彦	由良の歴史をさぐる会 会長	木村 卓雄
脇自治会 会長	矢野 善記	由良実業会 会長	松林 威寿
宮本自治会 会長	上羽 康一	由良観光組合 組合長	田村 光広
浜野路自治会 会長	中西 一就	由良子供会 会長	小室 直紀
港自治会 会長	山田 浩昭	栗田中学校PTA地区委員	森下 茂徳
下石浦自治会 会長	栢田 衛	栗田小学校PTA 会長	山中 龍実
上石浦自治会 会長	山下 浩二	由良地区公民館 館長	千坂 幸雄
由良松寿会 会長	山田 耕助	由良地区公民館 主事	千坂 昌子

由良地区公民館役員（順不同・敬称略）

館長 千坂 幸雄 主事 千坂 昌子

地 区	公民館活動員			備 考
脇	◎長尾 明廣	山本 健太	四方 一人	
宮本	◎升田 優子	森本 泰広	竹田 一貴	
浜野路	◎玉垣 光紹	中西 義朗	森田美砂子	
港	◎小西 直	小西まつ枝		
下石浦	◎山下 昇			
上石浦	◎野村 雄治			
注 ◎印…地区代表				

以上の皆様、1年間お世話になります。よろしくお願いいたします。



由良ヶ嶽山頂から
由良・神崎

令和7年度の事業計画

体育・文化事業

期 日	行 事 内 容
年3回(7月・11月・3月)	公民館だより発行
4月20日(日) 9:00	駅前通り芝桜除草作業(公民館活動員、地区民)
4月22日(火) 8:30	由良ヶ嶽登山道整備作業(公民館、自治連、観光組合)
4月29日(火) 8:30	第57回由良ヶ嶽登山(予備日 5月3日)
7月 6日(日) 9:00	ニュースポーツ(モルック)
7月26日(土)	盆踊り(ふるさと祭協力事業、えいへいや踊り保存会共催)
9月 7日(日) 17:00	グラウンド除草作業(公民館、自治連、地区民)
10月19日(日) 9:00	グラウンドゴルフ大会(団体戦)
11月 3日(月) 9:00 準備: 11月2日(日)	由良地区文化祭(会場: はまの子体育館、グラウンド)

子どものびのび体験活動

期 日	行 事 内 容
12月14日(日) 10:00	子ども料理教室(餅つき) (由良子供会と共催)

健康広場

期 日	行 事 内 容
9月26日(土) 8:30	由良地区外ウォーキング「天橋立ツーデーウォーク」
1月～3月	卓球教室(土曜日 連続講座)

公民館の事業は老若男女を問わず、多くの方が集まり、交流することで一人一人が元気になってもらう場です。一人一人が元気であることは地域を元気にします。公民館事業への参加をよろしくお願いします。



令和7年度 由良地区公民館予算書

一般会計(自治会協力金)

自 令和7年4月 1日
至 令和8年3月31日

収入の部 (単位:円)

科 目		6年度予算額	7年度予算額	増減額	備 考
1	繰越金	287,124	238,201	－48,923	前年度より
2	公民館費	472,320	457,380	－14,940	120円×318戸×12月、振込手数料540円
3	各種補助金	0	0	0	
4	雑収入	5	86	81	貯金利子他
合 計		759,449	695,667	－63,782	

支出の部

科 目		6年度予算額	7年度予算額	増減	備 考
1	会議費	35,000	30,000	－5,000	お茶代、ボールペン
2	事務費	10,000	10,000	0	クリアファイル
3	旅費	50,000	40,000	－10,000	館長、主事旅費
4	通信費	3,000	3,000	0	公民館だより郵送
5	事業費	140,000	140,000	0	文化祭、由良ヶ嶽登山
6	助成費	90,000	80,000	－10,000	ふるさと祭、10団体助成費
7	渉外費	30,000	25,000	－5,000	保護観察協会他
8	慶弔費	15,000	10,000	－5,000	
9	備品費	250,000	240,000	－10,000	展示パネル
10	消耗品費	20,000	20,000	0	乾電池、蛍光灯等
11	施設管理費	40,000	40,000	0	公民館管理費
12	予備費	76,449	57,667	－18,782	
合 計		759,449	695,667	－63,782	

《特別会計》	
・由良ヶ嶽登山道整備委託金（中丹東土木事務所より）	144,000円
・グラウンド整備の委託金（宮津市より）	55,000円
《公民館配分予算》	
・公民館活動費（宮津市より）	130,000円

以上、一般会計、特別会計、公民館配分予算で由良地区公民館の運営を行います。

『小さな・些細なことを大切に…』

栗田幼稚園 園長 栗田小学校 校長 堀 宏 安

今年度、日置小学校から、栗田小学校長・栗田幼稚園長として着任いたしました堀です。初めての勤務地でもあり、できる限り早く慣れて、栗田幼稚園、栗田小学校の更なる発展と、子どもたちの健やかな成長に寄与できればと切に思っています。

また、地域の皆様方からたくさんの方を教えていただき、地域とともにある学校を育んでまいります。由良・栗田地区は、風光明媚でとりわけ海、果実栽培など、自然豊かな校区へ転任することができ、勤務させていただけると縁に感謝しています。昨年度と同様のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

今日、情報通信技術の目まぐるしい発展、社会・経済のグローバル化や少子高齢化の進展な

ど、社会は大きく変化し、先を見通すことが難しい社会となっています。

今後、次代を担う子どもたちには、夢や希望を抱き、今は夢や希望がなくても目の前の学習・友達との関係などを大切に一日一日を悔いなく過ごしてほしいと願っています。

家庭や学校、地域での日常の小さな営みに価値を見出し、積み上げていく『積小為大』の意義を子どもたちには問いかけ続け、園児・児童の自らの納得解をどこかで見出してほしいです。中学生・高校生になつてからでも、大人になつてからでもよいので、自分がやりたいこと、社会に貢献したいことなど、何かを探究し、学び続けていってほしいと思います。

そんな子どもたちを教える育

む各担任の先生方の通信、学級目標、クラス掲示物等から、学年末には「これだけは目の前の子どもたちに力を付けてやろう」と日々努力している姿や思いが垣間見れます。

一方私の一日は、朝、校門に立ち、地域や保護者の方と一緒に、元気に挨拶をしながら、園児・児童を幼稚園や学校に迎えることから始めています。子ども一人一人の目を見て、様子を伺いながら挨拶をするようにと習慣付けています。1日のスタートの小さな習慣ですが、小さなこだわりから見えてくることもあります。まさしく『積小為大』、小さなことを積み重ね、事を為していく営みこそが、子どもたちに求める学び舎での私の教育観です。

教職員には、子どもたちの変わろうとする小さな変化・変容を見逃さず評価し、年度末には、幼児・児童の成長を喜び合える教職員集団(チーム栗田幼稚園・栗田小)へと目指しています。

子どもたちや、保護者、地域

の皆様方の願いに応えられるよう、尽力してまいります。

ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

最後に些細な言葉を大切にしたい願いから、小泉吉宏さんの詩『一秒の言葉』を掲載させていただきます。

『一秒の言葉』 作…小泉吉宏
・はじめまして、

この一秒の言葉に、
一生のときめきを感じることがある

・ありがとう、

この一秒の言葉に、人の優しさを
知ることがある

・がんばって、

この一秒の言葉に、勇気が蘇ってくる
ことがある

・おめでとう、

この一秒の言葉で、幸せになれる
ことがある

・ごめんなさい、

この一秒の言葉に、人の弱さを見る
ことがある

・さようなら、

この一秒の言葉が、一生の別れ
になることがある

一秒に喜び、一秒に泣く。

一所懸命、一秒。

丹後由良と私

由良の歴史をさぐる会 小笠原 淳

先に申し上げますと、私は丹後由良の出身でも無ければ、古くに縁故があった訳でもありません。しかしながらこの度色々な縁によりこのような機会をいただけたことに深く感謝です。

丹後由良に初めて来訪したのは今から八年程前にあるゲームをきっかけとして、過去に鎮守府があった舞鶴を訪れ、その際艦内神社（軍艦内に設けられる小規模な神社）の分霊元である由良神社を来訪いたしました。

また、その後定期的に来訪する切っ掛けとして、二〇一九年に「Twitter 現X」上においてある方が由良神社の欄宜様とお話され、神社を清掃できる体制を整備されたことが挙げられます。境内の掃き掃除、点在する落ちた枝を拾う、夏の時期は草むしり等微力ではありますが

すが、現在に至るまで月1〜2回程度の頻度で継続して行っております。五年以上に渡ってそれが継続できているのはひとえに丹後由良の魅力、そして住まう方々の温かさと感じています。ここ数年は神社のお掃除中に声をかけていただいたり、各種催しの際にも良くしていただいております。

また、丹後由良駅カフェ



「Anne Shirley」様、由良神社を管理されている和貴宮神社の欄宜様、由良オリーブを育てる会様等多くの方々にも改めてこの場をもちまして感謝申し上げます。

加えて、丹後由良に継続して来訪している理由の一つとしては由良川橋梁をはじめとした四季折々の風景に惹かれたことも挙げられます。

春には満開に咲き誇る丹後由良駅前の桜並木。先日開催された丹後由良さくら祭りも多くの人で賑わっております。

夏には青く輝く由良の海。数年前より拝見している夏の花火には楽しませていただいております。

秋には紅葉に彩られた由良神社や奈具神社。コロナ禍での中断から、三年前より例祭での奉納太鼓、二年前より神輿・山車巡業が復活し、迫力ある行事を毎年楽しみにしています（余談ではありますが、この例祭で踊られている船頭踊の中に海無しである私の出身県の

地名が入っているのが何かの縁を感じますね）。

冬は雪化粧の由良ヶ岳。ちらつく雪の中、写真に収めるのが毎年の楽しみです。

切っ掛けこそ些細なものでしたが、今は丹後由良を来訪することが日々のライフスタイルになっている気がします。

イベント等を契機に私のように丹後由良を来訪する方が増えてきているのを日々実感しております。よろしければぜひ声を掛けていただけると幸いです。



由良での思い出

ブリケ ガブリエル

私の6か月にわたる由良での生活が終わりました。

私は日本人の妻と結婚し、2人の子供がいます。由良は義父の故郷です。

今回は、日本語の習得と日本の生活の体験を目的に義両親の家に滞在している妻と子供たちのもとに来ていました。

都会の喧騒の届かない、海と川と山に囲まれた素晴らしい村での滞在は美しい思い出です。

由良での生活で真っ先に思い浮かぶのは、晴れた日に白砂の長い浜でのジョギングの気持ちよさです。

ジョギングでは、探検を兼ねて家々の間を縫う小道を走ったりもしました。木と土壁でできた伝統的な日本家屋、美しくも朽ちかけた空き家、小道の先



で知らない神社にたどりついたりもしました。奈具神社、金毘羅神社、荒神社、住吉神社など、木立に囲まれ静かに佇む神社を見つめるのもジョギングの楽しみの一つでした。

たくさんの人にも会いました。空手教室の仲間、親子で空手を教える二人の師匠、子供会の父兄、出張から戻るたびに「おかえりなさい」と迎えてくれ

た駅カフェ「アン・シャリー」の女将さん。女将さんの作るチョコレートケーキは絶品でした。

他にも、村の美味しいものをたくさん食べました。石浦で仕留めて燻製にされた鹿肉、肉厚のシイタケ、山で採ったタケノコ、山菜、多様な柑橘類、オリーブオイルやオリーブの新漬け、ハクレイの日本酒。由良ではありませんが、京丹後のクラフト・ジンもお気に入りです。

退屈する暇もないぐらい、様々な行事にも参加できました。亡き祖母を偲ぶ法事の儀式。新年には除夜の鐘をつき、神社に参拝しました。11月の餅つき、1月の「山の神」、3月末の「さくらまつり」、4月の由良ヶ岳登山、5月の田植え。フランスにはない授業参観で、子供たちの学ぶ姿も見ることができました。

由良川橋梁を渡る列車、その



木製の内装の1両編成の列車の中に乗ったこと。由良川沿いに広がるオリーブ畑。由良駅前の樹齢100年ほどの桜並木や春の花が咲き乱れる庭々。光り輝く水と蛙の合唱に満たされた春の水田。そこに整然と並ぶ若い稲苗。止むことのない由良の風と、11月でもまだ暖かく5月にはもう心地よい海の水。

この自然の豊かな美しい村、この場所にまた帰ってくる日を待ち遠しく思います。

由良が光り輝いていた時代

(26)

丹後由良歴史調査「^{ひと}独」会 加藤 正 一

石工（北野）儀左衛門家

「由良を代表する石工」

江戸時代からの数々の作品が残されている。

『古文書』

「乍恐奉願上申候口上之覚」

先年川下寄積登申諸色荷物之義、有路次ニ被為成候而、夫ニ付御運上被為仰付、只今迄指上來候所ニ、中此ヨリモ油良石舟夥敷作出シ、積登セ申二付、当地之高瀬舟一切働不申候而段々損シ申候而モ造作可仕助成モ無御座、御用等ニ乗廻シ申儀モ無覺束様ニ罷成、迷惑ニ奉存候、惣而登リ荷物前々之通ニ有路次ニ被為仰付被下候ハハ、難有仕合ニ可奉存候 以上

有路高瀬舟持中

享保二十一年辰四月（一七三六）

大庄屋吉兵衛殿

享保時代に由良石が採掘され由良川を遡って運ばれていたことが解る

『丹後地方史友の会

和田博雄氏著』

「丹後の石工について」

由良は良質の花崗岩を採石出来るために、石工の活躍した村でありました。

嘉永、安政、慶應、明治の頃は

北野儀左衛門

明治・大正期は

澤井藤吉・大森源兵衛

大正・昭和初期は

小室久治郎、中村豊三郎

が作品を残しています。

『石工仲間規定書』

寺内町 和泉屋 庄平

由良村 儀左衛門

一此両家享保年中

御用相勤元文五庚申年中御運

上相納職業相続

白杉村 小和田 籐兵衛

一天保三年江戸屋舗普請御用相勤同十一庚子石工職業蒙御免御運上相納

御運上相納

丹波町 上林屋 庄六

一嘉永七年甲寅年九月御願申上蒙御免

堀河町 川口屋 吉助

一安政二乙卯年五月

御改之節蒙御免

この六人之もの

一安政二卯年五月

御改之節其身

一代限職業御免

丹波町 大丹生屋 嘉七

平野屋町 紐屋 市兵衛

魚屋町 松右衛門

堀上町 甚六

新町 伊之助

魚屋町 芋屋 茂兵衛

右書面之通 庄平 儀左衛門

者前々職業相続。籐兵衛者別段増三家者石工拾人宛之積ニ而為作料四拾五匁宛年々御上納仕来候處去ル天保十三寅年從

御公儀様諸職諸商売筋御改革被仰出候ニ付諸株御解払依之石工株茂同様被 仰付御運上茂御免ニ相成其後平外之姿ニ而猥ニ相成却而不融通之思召ヲ以今般御改被仰出前書本株四人之者江御鑑札壺枚宛被下置庄平儀左衛門籐兵衛三人者以来世話方被仰出一同難有仕合ニ奉存依之為御冥加年々石工三拾人宛御用相勤め可申御用無御座年者老人四匁五分之積ヲ以年々銀百三拾五匁宛本株四人の者御上納仕度右ニ付向後同職不相増候様御憐

愍奉願上候處卯年□月御上納
之儀願之通被仰付候ニ付弥以
職業相勤励ミ御用筋出情可相
勤依今般相談之上取究候規定
左之通

一 於御領内ニ石工ニ紛鋪儀イタ
シ候モノ有之候ハハ早速世話
方江申出候上仲間之モノ罷越
差留可申若不相用候ハハ銚金
取上ケ世話方其段申上御差
留可相願事

一 職業筋御用之節者世話方申
付次第無遅滞罷出相勤可申候
事

一 稼筋相互ニ無差支申合働先サ
マタゲニ相成候儀不到以実意
互ニ励ミ合業躰手廣ニ相成候
様イタシ合可申候事

一 御運上銀上納每暮十二月廿日
限耄人前銀札式拾七匁九分宛
御鑑札ニ相添世話方江持参可
致候事

一 是迄弟子抔而名目ヲ付別家ニ
一 御運上銀上納每暮十二月廿日
限耄人前銀札式拾七匁九分宛
御鑑札ニ相添世話方江持参可

致候事

一 是迄弟子抔而名目ヲ付別家ニ
而業躰為致候得共向後ハ無用
事年季抱込ニ而業躰為手伝候
儀者格別内弟子タリトモ不相
成若職業手張候節者仲間ヨリ
相互ニ助合間欠無之様可致候
事

一 六人之モノ者一代限御免之儀
ニ付縦令忤職業筋無之共相統
之儀者決而不相成其身一代之
心得ニ而相稼可申事

右之通今般熟談之上規定取究候
上規定取究候上者毛頭無違乱堅
相守永久相統可致依連印規定書
如件

安政二乙卯年六月

寺内町和泉屋 庄平

由良村脇 儀左衛門

白杉村小和田 籐兵衛

丹波町上林屋 庄六

堀上町川口屋 吉助

外ニ

六人之者名前ヲ書印形取事

「翻訳」

舞鶴郷土資料館

学芸員 小室智子氏

一 此の両家享保年中（一七一六
〜一七三五年）より御用相勤め
元文五年（一七四〇）より御運
上（税）相納め職業相統

寺内町和泉屋 庄平

由良村 儀左衛門

一天保三年（一八三二）江戸屋

敷普請御用相勤め同十一年
（一八四〇）石工職業御免運
上相納める

白杉村小和田 籐兵衛

一 嘉永七年（一八五四）九月御
願い申上げ御免蒙る

丹波町上林屋 庄六

一 安政二年（一八五五）五月御
改めの節御免蒙る

堀上町川口屋 吉助

一 他にこの六人のもの安政二年
（一八五五）五月御改めの節
その身一代限り職業御免

丹波町 大丹生屋 嘉七

平野屋町 紐屋 市兵衛

魚屋町 松右衛門

堀上町 甚六

新町 伊之助

魚屋町 芋屋 茂兵衛

書面の通り庄平、儀左衛門、は
前々より職業相統。

籐兵衛は別段増三家は石工拾人
宛積にて作料銀四十五匁宛年々
上納した。

去る天保十三年（一八四二）に
従い御公儀様 諸職諸商売につ
いて改革を仰せられ諸株 御解
き払いにより石工株も同様と仰
せ付け、御運上もなしになる。

その後（平外之姿ニ而猥ニ相成）
却って不自由と思ひ召して此度
改められ、仰せで前書き本株四
人の者へ御監札一枚宛て下し置
き、庄平、儀左衛門、籐兵衛、三

人は以来世話方よりなる。仰せ
出される職業株立てられる。仰
せ出され一同有難き仕合せに存
知奉る、之によりたる御冥加
年々石工三十人宛御用相勤め申

しべく、御用御座ない年は一人四匁五分の積を以て年々銀百三十五匁宛本株四人の者より御上納仕度、

右に付向後同職相増さず候様。

御憐れび願ひ上げ奉り候處卯年

□月 御上納の儀願ひこれ通りされ仰せ付け候に付き、よいよ

もって職業相励み御用筋出精相勤めべく今般相談の上取り決め

候。規定左の通り

一御領内に於て石工に（紛鋪）

儀いたし候ものこれあり候はば。早速世話方へ申しで候上、

仲間のもの罷り越差し止め申すべく、相用いず候はばノミ

取り上げ世話方よりその段申上げ御指し止め相願うべく事

一職業御用の筋の節は世話方より申し付け次第遅滞なく罷り

出相勤め申しべく候事

一稼ぎ筋相互に差支え無き申し合わせ、働き申し合わせ、

働き先さまたげに相成り候儀、実意をもつて致さず、互いに

励みあい業（駄手廣ニ）に相

成り候様いたし合い申すべく候事。

一御運上銀上納、毎暮れ十二月

二十日限り、一人前銀札二十

七匁九分宛御鑑札に相添え世

話方へ持参いたすべく候事

一これまで弟子ならびに名目を付け家別にて（業駄為）致し

たる候え共、向後は無用の事、年季抱え込みにて（業駄為）

手伝え候儀は格別内弟子たりとも相成らず、もし職業手張

候節は仲間より相互に助け合

い欠けこれなき様致すべく候事

事

一六人の者は一代限り御免の儀につき縦令倅職業筋これなく

とも相続の儀は決して相成らず。その身一代の心得にて相

稼ぎ申すべく候。

右の通今般熟談の上、規定取り決め候上、毛頭異論なく堅く相

守り永く相続致すべくよって規定書連印くだんのごとし。

安政二年（一八五五）六月

寺内町和泉屋 庄平

由良村脇 儀左衛門

白杉村小和田 籐兵衛

丹波町上林屋 庄六

堀河町川口屋 吉助

他に六人の者名前を書

印形取事

要約すると

儀左衛門家は享保年中（一七一

六〜一七三五）より田辺藩の仕

事を受けていた。元文五年（一

七四〇）より税をおさめ職業（石

工）を代々相続していた。

天保十三年（一八四二）本株四

人の者へ御監札一枚宛て下し置

き、庄平、儀左衛門、籐兵衛、

三人は以来世話方よりなる。仰

せ出される職業株立てられる。

又年々石工三十人宛御用相勤め

申しべく、御用御座ない年は一

人四匁五分の積を以て年々銀百

三十五匁宛本株四人の者より御

上納仕度、銀百三十五匁とは現

在価格では1匁一二五〇円（ネ

ット情報）とする約と十六万八

千八百円になる、田辺藩の御用

が無い場合上納する。世話方

外一代限りの者は銀札二十七匁、

（約三三七五〇円）暮れ十二月

二十日に鑑札に添えて世話方に

持参。などの税の決まり役職の

決まり、仕事の決まりが書かれ

ている。

これらの事から儀左衛門は田辺

藩において石工を代々相続でき、

世話方でもあり確固たる石工で

あったことが解る。

儀左衛門の作品として

一如意寺に四国八十八ヶ所の天

保十年（一八三九）の石柱が

あり、由良岳の麓、東西に四

国八十八ヶ所を模した石仏が

置かれ、その一面に儀左衛門

名の五輪塔が置かれている。



其の外 大川神社に多くの儀左衛門作の燈籠がある。

大川神社と由良の関わり

「大川神社縁起」

(丹哥志・加佐郡誌・舞鶴市史)
 顕宗天皇の元年三月二十三日によ良の漁師野々四郎に、金色の鯉に乗り五穀と桑蚕の種を持つ神が□□して、大川の地に鎮座したい旨の託宣があつて九月に社殿を造営した。

大川神社(式内社 加佐郡十一座の最高位 名神大社



大鳥居前の大燈籠一対



台座に由良村澤井某と刻印
 この澤井某とは以下の資料から澤井市造であることがわかる。

『郷土に於ける澤井市造翁』

中西孫兵衛作 四方俊雄著

明治三十年に大川神社へ献納された燈籠であります。初め北野儀左衛門氏を呼びにやり市造君は彫刻を築費の設計した金額にて北野に懸合になり、北野は工費に不充と云ひ調談撓らず兎も角遣れとの命令的に約成り、果して北野乃申立通不足となれり、私は傍に聞きたるが係り合となり其監督を命ぜられた。是とも當時は氏子惣代の職を報じた頃にて神社への寄附とあらば喜ぶべき理依て諾せしが、四つ石臺の据え方異法なりと御叱を蒙れるが其理由を聞けば御尤千萬是には殆んど恐縮致しました。北野に其旨を通したれば全く私の召使の職工の疎漏にて何共詫びん様なしとの事故、損金は何程なるや頼みやらん北野曰く萬事休す雖一向台湾にて使役せられしと、然るに星霜幾多を経、明治否大正元年十月三日松原寺にて偶々此時の話出でけるが、

北野は「イエ台湾にて連れ行れて非道い目にありました」と申しましたが、是には事情の存する事にて北野は台湾にて、人為的如何ともすべからざる災害頗至の状況に懲りたのでせう。

・ ・ ・ ・ ・

本殿に向かつて左大燈籠の台座左側面に刻印、

明治三十年三月吉日

世話人 由良村 中西孫兵衛
 工作人 北野儀左衛門





大鳥居と朱鳥居の中間燈籠一対
 献燈 米屋四郎左衛門(磯田)
 石工 由良邑 儀左衛門
 慶應三年二月辰日(一八六八)



朱鳥居前一對燈籠
 嘉永五年(一八五二)二月
 由良邑 儀左衛門
 奉納者解読できず



出羽本莊藩 (現秋田県)
 安政三年 (一八五六)



上欄中央写真
 出羽本莊藩(現秋田県)
 左側写真 柳瀬清右衛門
 此の燈籠は本殿に向かって左、
 石垣下一基
 石工 由良 北野儀左衛門

出羽本莊藩(現秋田県)は二万石の小藩、「明治元年武鑑」御分限帳記載の柳瀬清右衛門であれば士族とあり、禄高は十一石四升であるのにどのような関係で大川神社に、儀衛門に依頼した?

由良 金毘羅神社鳥居



鳥居 海上安全(明治九年六月)

根元に世話役磯田新四郎、石工
北野儀左衛門刻印あり

由良及び近隣には多数の神社があり、その分燈籠、鳥居などの石造物も多数ある。それらの中には製作者が確認、調査できていないものが多々ある。それらが解説調査出来れば、江戸時代から明治まで代々石工業を継承してきている儀左衛門制作の石製品があるかもしれない。今後の調査に期待したい。

大川神社には由良の他の石工の燈籠もあり、この神社と由良との関りが深いことが察せられる。

「御詫びと訂正」

前号「公民館だより 第一八二号」旧国鉄宮津線開業一〇〇周年の中で宮津線工事請負は京都後藤甚五郎と記載しましたが、後藤伝五郎の入力間違いでした。

前回掲載いたしました「由良が光り：26」は3ページ目が完全に抜け落ちていましたので訂正し、再掲載いたしました。お詫び申し上げます。 千坂

【安寿亭でランチ会】

6月7日(土)午前11時30分から、公民館活動員のランチ会をしました。土曜日の安寿亭は4月から新しい皆様が運営をしておられます。メニューも今までと変わっています。私たちの集まりのために、新しい試みで定食ランチを用意していただきました。リーズナブルで大変おいしくいただくことができ、皆様満足の様子でした。

仕事の関係などで、参加できなかった方もいましたが、公民館のこと、由良地区を中心に世間のこと、皆様の経験で楽しか

ったことや、印象に残ったことなど話が弾み、今後の公民館活動の励みになりました。

やはり、人は集まり一緒になつて何かを行うことで元気になるものと実感できたひと時でした。

これから、ニーススポーツ(モルック)、ふるさと祭り盆踊り、グラウンドゴルフ大会、文化祭、とりわけ文化祭では前日に準備も含めて2日間お世話になります。

地区の皆様には、誘い合つて公民館の事業に参加していただきますよう、お願いいたします。小学生から高校生までの若い方が参加していただくことができれば、由良地区の明るい未来が開けるのではないかと思います。参加を待っています。

ひと月に2回の回覧で事業案内をしています。回覧板をご覧ください。

『由良ってこんなものできるんだ』 XI

山下 剛 敏

久しぶりに感じてしまうほど、梅雨らしい梅雨、と思えた

六月。この二三年は梅雨の短さと、異常とも云える暑さが長

引く、おかしな気候を体験させられました。自分ごとですが、

隔年で結果の増えるオリーブも、今年は成り年なのか花芽が多く付き、収穫を楽しみにできれば、と秋を想像しております。

そのオリーブ畑、私は栗田にも農地をお借りしており、一緒に獣害対策の電気・金網柵を囲っている方がいらつします。その方に数年前、立派な生姜を分けて頂いたことが起因で、我が家の自家菜園にて昨年か試しに作っています。その結果、我が畑のような『砂地』の土質では、少し難しそうだと感じています。ただし、小ぶり

ながらに良い物は出来ました。

今回は「しょうが」を取り上げます。

栽培期間が長めの作物ですが、食すと体にとって良い成分を含んでいます。

①種以外に用意するもの

有機石灰または苦土(クド) 石灰(有機は植付けがすぐにでき、苦土は二週間以上前に撒いて耕しておきます)、堆肥(鶏ふん・牛ふんなど)、野菜用の化成肥料、用意できれば追肥用に有機肥料(油カスや魚粉入り肥料など)。

②種しようが用意、土壌作り

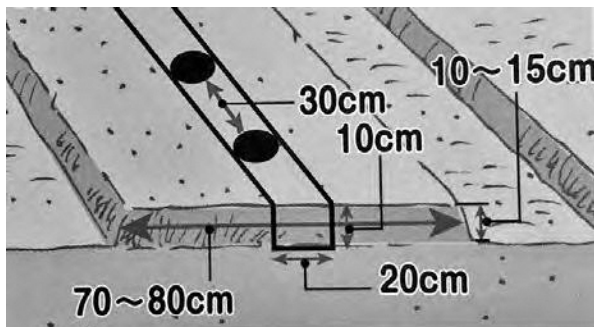
我が家ではホームセンターで購入しました。四月の中旬頃には店頭に並んでいるかと思えます。①で紹介した石灰・堆肥・化成肥料をしっかりと混ぜ

て耕し、畝を作ります。種しうがは、芽の付いた部分を2〜3箇所つけて小さく切り分けます。

③植え付け

(四月下旬〜五月中旬)

畝に幅20cm、深さ10cmほどの溝を掘ります。溝の中に、芽の付いた部分を上に向けて、30cm間隔を目安に並べます。掘り起こした土を被せて軽く押さえ、平らにならした上から水をたっぷり掛けてやります。



④追肥と土寄せ

植え付けてから一ヶ月と二週間ほどで(六月中)、化成肥料または有機肥料で追肥を与えます。植え付けた箇所を中心に、直径30〜50cmくらいを目安に肥料をまき、手か小さい手鋤で表面を浅く耕し、肥料を軽く混ぜてやってください。その時に土から芽が出て10〜15cm伸びていれば、少しだけ茎に周りの土を寄せてやって下さい。

その後二か月ほどで(八月上旬からお盆迄)再び追肥をしてやります。その頃に茎丈が30〜40cmくらいに伸びていれば、一度目と同じように



追肥後、軽く土ごと肥料混ぜてやり、最後は周りから更に土を被せて、土寄せをしてやってください。

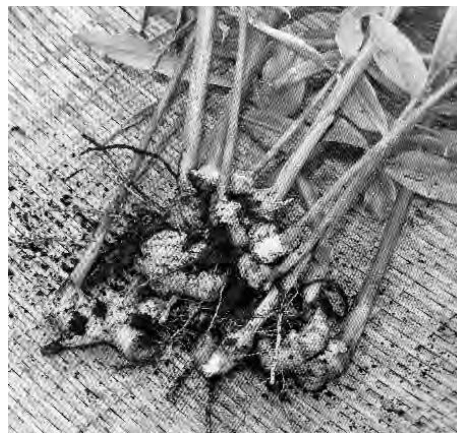


⑤収穫 ニパターン

一パターン目は、我が家は食べた事ありません。葉シヨウガ として収穫する形です。七月下旬からお盆迄の期間に、根元の土を抑えながら一株の数本だけを抜き取り、洗った物を根の近くをカジって楽しむ食し方です。

ニパターン目は、十月下旬から十一月月上旬まで育てて収穫します。根シヨウガ となります。基本的には、霜が降りる時期までに収穫するのが良いそうです。茎の根元から20cm

は間を開けて、スコップを差し込み、根の下から株ごと持ち上げるように掘り起こします。あとは茎を切って、使用する分だけ水で土を洗い流します。



今回の工程には記していませんが、栽培の上で一番重要なポイントは【**注**土壌の乾燥に弱いので水やりを欠かせない！】という事です。最初にお伝えした「我が畑は砂地の土質」のせいか、大きい生姜はできませんでした。この事から、田んぼ跡地など水持ちの良い土質では大きいサイズがで易いのか？と考えております。

我が家では、採ってすぐ新生姜の甘酢漬けにします。下ろし生姜にすると刺身の薬味や豚の生姜焼きのタレに入れたり、刻んだものを入れて青魚を煮付けたり、唐揚げの漬込みタレに使ったり等々、用途は様々な調味料として、又はスパイスになります。

栄養成分は生で食べても、加熱して食べても、どちらも体を温める成分が入っており、体内を整えたり免疫力を高めたり、良い仕事をしてくれます。

土を付けたまま10℃以上20℃迄の暗所があれば、長期保存も可能になります。その条件以外は保存が難しいです。

◎次回は 南瓜（かぼちゃ）です。

今回の協力…栗田の方
前号の訂正とお詫び・お米の害虫としてご紹介した×コメカメムシ ○イネカメムシです。失礼いたしました。

レシピ「豚の生姜焼き」【黄金比率の味付け】

暑い季節、豚の生姜焼きは、疲労回復に効果があります。また、しょうがのさわやかな味はご飯がすすみます。

2人分

1 キャベツの葉大を2枚、干切りにする。

2 豚ロース肉（生姜焼き用）200gの筋を切り、清酒小さじ1と濃い口しょうゆ小さじ1で下味をつけておく。

3 フライパンにサラダ油小さじ2を強火で熱し、豚肉の両面をこんがり香ばしく焼き、余分な脂をキッチンペーパーでふき取る。

4 たれの材料（清酒大さじ1、本みりん大さじ1、濃口しょうゆ小さじ2）を順に入れて混ぜ、全体をよく絡める。キャベツとともに盛り付ける。

ふるさと祭り

開催日時及び催し物

7月26日(土)

「神事」

午後5時00分～

「盆踊り大会」

由良地区公民館主催

午後6時30分～午後7時30分

「灯籠流し・花火の夕べ」

由良地区子供会主催

午後7時30分～午後8時30分

「大花火打ち上げ」

由良ふるさと祭り実行委員会主催

午後8時30分～約10分間

会場 中央海水浴場

会場を中央海水浴場に移し

て3年目になり、催し物がそれぞれグレードアップされています。どうぞ皆さま、お誘いあわせの上ご参加ください。

盆踊りの練習会にも参加をよろしく願っています。案内は後日になります。盆踊りは「由良小唄」「えいへいや踊り」「宮津節」です。

由良ヶ嶽登山道を守る

毎年、由良ヶ嶽登山の日(4月29日)の10日ほど前に自治連、観光組合、公民館で登山道整備をしています。課題が大きくなってきました。

○それぞれの団体の高齢化
○働き方の変化

これらの課題により、整備に参加していただける方が減少しています。

今回の登山道整備には、3つの団体の他に、有志の方を何名か募りたく思います。次年度案内いたしますので、ご協力をお願いいたします。

この前の溝掃除の日には丹後由良駅から約30名の方が由良ヶ嶽を登山しに降りてくれました。このように登山される方がいることで登山道が守られています。由良地区としては、より安全に登山をしていたけるように、いつまでも守っていききたいと思います。

令和6年度 宮津市人権標語優秀作品 (小学校4年生～小学校6年生)

- 辛いとき にげてもいいよ 負けじゃない (4年生)
- 君とぼく みんなが主役 この社会 (5年生)
- 「普通じゃない」 だれが決めたの? その「普通」 (6年生)

編集後記

「丹後由良の地形からの恩恵」
丹後由良に住んでいることで
幸せを常を感じています。

日本海側で若狭湾内に位置し、居住地や由良ヶ嶽の裾野は東側を向いています。そして、由良川が南北に流れています。

この地形により、日当たりがよく、風通しが良い。このことは健康に暮らせる要素です。昭和20年代から30年代には京都府の保養所があり、別荘が立ち並んでいた(現在も)ことでもわかります。カリフォルニア地方の気候に似ているのだそうで、収穫できる作物もカリフォルニア地方によく似ているのだそうです。

日本は島国で火山も多く自然災害の多い国ですが、丹後由良の地は、比較的に自然災害が少ないと感じています。

こんな素晴らしい地に多くの方が住んでいただきたい。